

自然豊かなところ、教育熱心な地域、実家の近くなど、小さな子どもがいる家族は、子育て環境の整ったところに住みたいと願うものです。私は子育て環境について、誰かに子どもの世話や教育をお願いする「預け先」と子どもが日常的に接する「まちの環境」の2つの視点で考え、家族の住むまちについて考えます。2つの環境のうち、前者は保育所や幼稚園、学校などの数や質、自宅や勤め先からの利便性などで、後者は公園や通学路、散歩道、遊び場、治安など、子どもが子どもだけで、あるいは親や友だちと一緒に過ごす場所の数や質です。

私は、子どもには、親とのふれあい以外に、「生の（リアルな）環境」にふれながら感受性や社会性を身につけてほしいと願っています。「生の環境」とは自然や人、食べ物、生き活きとしたコミュニケーションの場のことです。空堀界隈には、商店街での店主や店員さんとの会話、その場でつくられるところの見える食べ物、銭湯での名前も知らないお年寄りとの会話、下りは楽で、上りはしんどい坂道や古くて味のある石垣、新旧の建物などなど、生の環境がふれています。自然環境は水辺や大きな緑地が近くにはなく、ややもの足りませんが、商店街

を歩くだけであいさつの声が聞こえるように、社会が自然に子どもを育ててくれる生の環境が充実していて、子どもがそれらにふれるたびに感受性が育まれていると実感します。

一方、保育所や学童保育など、子育てと仕事の両立を支える施設は、子どもの数に対して不足していると言わざるを得ません。私の場合、なんとか補欠で保育所に入れましたが、その後も競争率が高まっていると聞きます。また、遠方からもまちあるきに来る散歩のメッカとも言える空堀界隈で、子どもをつれて買い物や散歩をする家族の姿もそれなりに見かけますが、子どもだけで遊ぶ姿、公園で子どもがいつぱい遊んでいる姿はあまり見られず、残念だと感じています。塾に時間をとられ、遊びは家の中、また、防犯面か

ら学校帰りには寄り道はせずと指導がなされるのは、日本全体の傾向で、この界隈だけの問題ではないでしょうが、外で子どもを見かけないのは寂しい限りです。

放課後の学校での遊びや活動もあるでしょうが、なかなか学校の中の活動はまち行く人の目にはふれず、知られにくいもので、まちが元気だという印象を与えません。世田谷区や西宮市、西淀川区などで展開されているように、公園におとなのプレイヤーがいて、子どもの外遊び、冒険遊びに子どもが集まり、遊びでお腹が空いたなら、商店街にコロッケやおでんを買いに行くようなまちななれば、下町の風情に似合う下町育ちの子どものあふれるまちななるのではないでしょう。

からほり新聞

上町台地マール・エコーン協議会まちづくり提案事業助成選定事業

「お帰り」と声が。

元気な子どもを育むまち

第17号
(2010.02.20)

「空堀界隈を」散策される皆様へ」

- ◆ 路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆ 美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆ 商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

からほりボランティアガイド養成講座

ボランティアがいると100倍楽しい空堀が見つかります。ガイドボランティアとして参加されませんか。

- 期間：3月13日～4月10日（毎土曜日・4月3日休講）参加費（4回2500円資料代含む）
- 定員：20人 ■ 講師：市民と暮らし研究所（太田昌也）／大阪探訪代表（千万多津子） ■ 場所：からほりさろん ■ 申し込み・問い合わせ：高齢者外出介助の会06-6764-4002

バザー(3月30日・31日)

自宅で眠っているものがありましたらご協力ください。(バザー会場はからほりさろん)

からほり伝言板

かみなり亭寄席 ▶ 奇数月の第2土曜日午後6時30分～ ▶ 会場：薬業年金会館 ▶ 出演：笑福亭一門ほか。(有料) ▶ 問い合わせ：06-6768-3549

講談「旭堂南海の何回続く会?」 ▶ 毎月第4火曜日 ▶ 午後7時～ ▶ 会場：薬業年金会館 ▶ 木戸銭：1,500円

「からほりさろん」 News

お年寄りの皆さんに、住み慣れた町で楽しく充実した暮らしが続けられることを願って、支援活動や暮らしの潤いに様々な企画を推進しています。

- 【からほりさろん】
- 懐かしいレコードを聴く会(第4月曜日午後1時半)
- 食事会(毎月第3木曜日12時～) 楽しく食べませんか。参加費 500円。
- 読み聞かせの会 毎月第2水曜日、第4水曜日 講師：プロで活躍された、にしおみつこさん。声を出して表現する楽しさを味わって下さい。

楓ギャラリー www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede-g/

買い物は空堀商店街で

「空堀まちなみ井戸端会」お知らせ
まちなみ修景補助制度「部分修景」が新年度から可能になりました。自宅改修される時お問い合わせ下さい。

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ① 外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ② 暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③ 車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④ 生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ 大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥ 「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとふ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www.9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・ご感想投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださいのお店も大募集。
「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。
指導：北口 桂

喰べ処 呑み処 おそうぎいの店

島やん

谷町6丁目12-8 TEL 6762-9288
営業時間:PM5:00～11:00(定休日:月曜日)



記事が掲載されてからというもの、毎日放送のニュース番組「ボイス」や土曜日朝に放送されている「知っとこ」などのテレビ取材を受けたり、ネット上でも、全国のプロガーから好意的に取り上げられたりして、一

躍時の人に。もともと、国会中継をよく見ていたとはいえ、泡に絵を描くようになったきっかけは、チルコドーロの茂木皓守さん（からほり新聞第15号で紹介）に出会ったことから。今から1年半前、通勤途中にいつも前を通っていたチルコドーロに入ってみようと思った時、店内から「ボン・ジョルノ」と、陽気に声をかけてくれた茂木さんとすっかり意気投合し、今ではコウちゃん・カンちゃんの間柄。多い時は、出勤前と昼食時の1日2回も顔を見せる程になった。

昨年8月に日本初のイタリア製レーバー式エスプレッソマシー

(三井康栄)

あの歴史的な政権交代が実現した第45回衆議院議員総選挙の公示があった8月18日の少し前から、自分でいれたカプチーノの泡に与野党党首の似顔絵を描いていた北宅寛次さん。特に、民主党の鳩山由紀夫さんと自由民主党の麻生太郎さんの似顔絵は出色で、国民新党の綿貫民輔

さん、公明党の太田昭宏さん、共産党の志位和夫さん、社会民主党の福島瑞穂さんの特徴もよくとらえられていると好評だった。「これは面白い！」と、ジエラテリア・チルコドーロの常連の間で話題になり、その中の一人が画像を産経新聞の記者に送ったことから、8月22日付けの夕刊で紹介されることになった。

ンが店に導入されてから、バリスタの茂木美伸さんに弟子入り。カプチーノのたて方を教わり最初に猫を描き、それからはずいぶん人気のあるアンパンマンやアトムから動物や植物まで、少しずつレパートリーを増やしていった。店内には、「カンちゃん画伯のラテアート作品展」コーナーがあるので、一度見学を。運がよければ、北宅さんに似顔絵を描いてもらえるチャンスも。

直径5cmのカップでも実際は約4cmの範囲内に絵を描くので、繊細なタッチを出すために先を自分で細く削り、普通より長い7.5cmの黒文字製のマイ爪楊枝を持ち歩いている北宅さん。甲子園に応援に行く程の阪神タイガースファンなので、「来期こそ優勝を狙えるチームに」という願いを込めて、最近では新加入した城島選手の似顔絵をよく描いている。また、空堀商店街にある商店の雰囲気伝えるシリーズを描いていきたいので、ロゴや看板などをスケッチしてみようと思っっているそうだ。

カプチーノの泡に各党首の似顔絵を描いたことから、新聞やテレビの情報番組に登場するようになった北宅寛次さん。本職は、労災保険や雇用保険の心強いアドバイザーとして、空堀界隈の事業主さんに頼りにされている「南産業会労働保険事務組合」の事務局長さんです。では、北宅画伯の誕生秘話を紹介しましょう。



カプチーノ似顔絵画伯 北宅寛次さん

快傑！からほり人

快傑ファイル其の十五

上町台地マイルドHOPEゾーン事業助成金を頂きからほり新聞制作チームで絵本と地図製作に取り組んでいます。作者の紹介です。

からほりマップ・絵本紹介

からほりのあるきかた(マップ)

濱野真由美 (Hamano Mayumi)

昨年度のからほりまちアートの出展したことがきっかけで今回のお話を頂きました。もともと絵を描くことが好きで、からほりの町並みを自分なりにアレンジした絵を展示しました。私は現在建

築を専攻している大学院生で、2年前建築仲間とカメラ片手からほりのまち歩きして以来、暇があれば散策しています。まちは小さな水族館があったり、家が木に食べられていたり、路地に飛

び出た日用品があったりと、いつも私の好奇心をくすぐってくれます。今回の絵がからほりの魅力を再認識していただけるものになればと思っています。

からほりのちいさな旅(絵本)

志水恵美

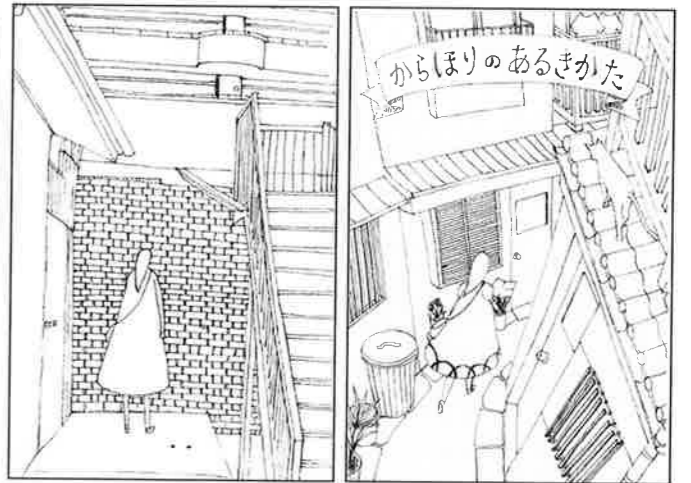
■絵本への意気込み

実際にまち歩きをしてみて、からほりの独特の空気感を改めて感じました。開発の波は確実に押し寄せてきていて、今あるこのまちの魅力を伝えることの意義も同時に感じています。制作中の絵本が、一人でも多くの方からほりを知ってもらえるツールになったらと思います。



長い間からほりの商店街で露天販売していたキムチ屋さん。去年の暮れからめでたく店を構え営業です。40数年からほりの移り変わりを見てこられた生き字引です。

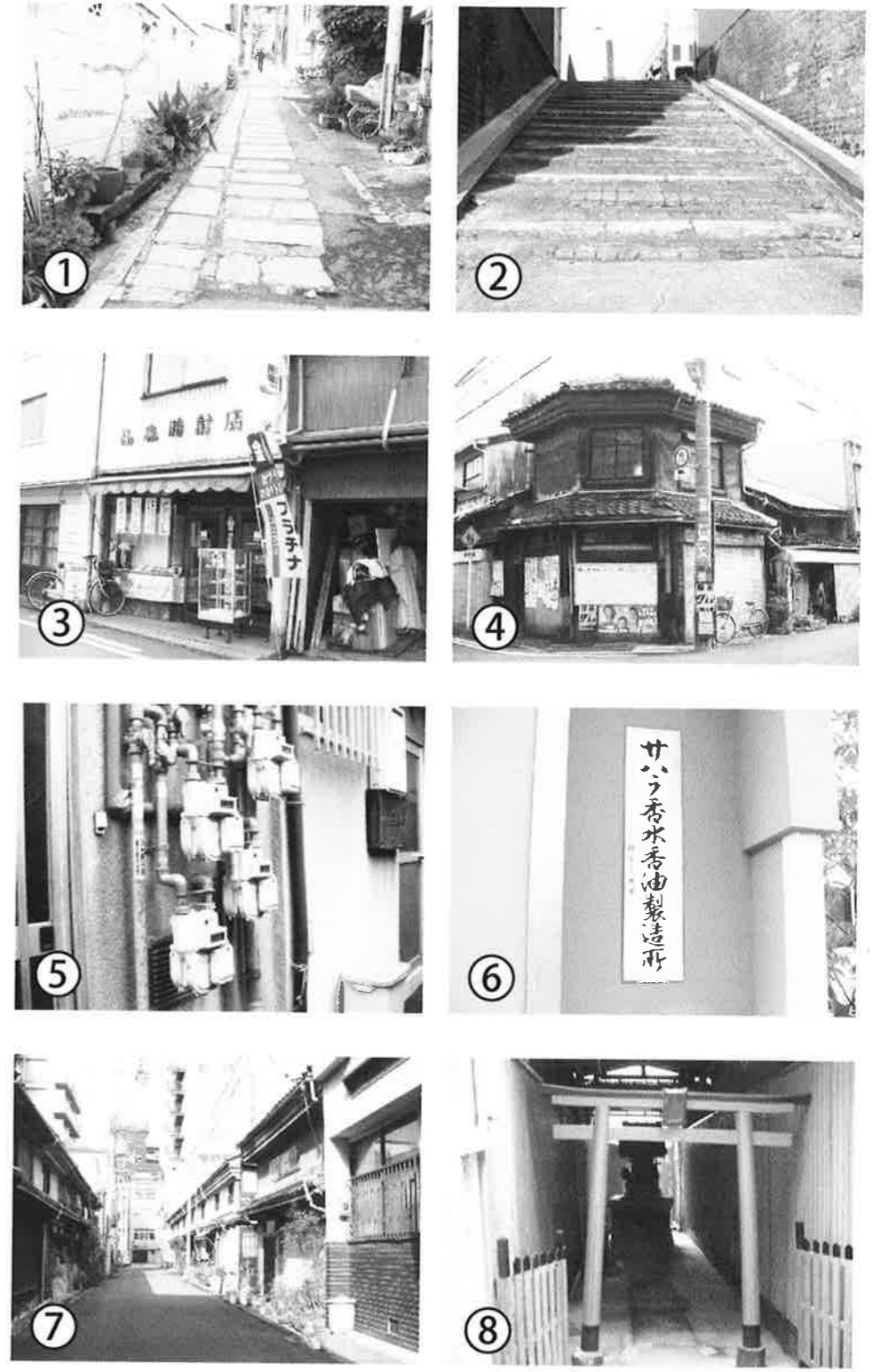
キムチ屋さんオープン



4月12日から「原画展」開催 会場・からほりさん

か ら ほ り 界 隈 お 散 歩 M A P

其の15 からほりのちいさな旅 からほりのあるきかた



空堀の絵本や地図をつくることからほりのまちを歩きました。

ちよっとミステリー。今回は場所を示さずに写真だけで案内しようと思います。すぐ見つかる所や歩き回ってもなかなか見つけれないところもあり、絵本をヒントに「ここかな？ あそこかな」と探してください。発見する楽しみを残しておきます。

① この石畳は歩き始めたらすぐに出会うところですよ。

② 階段も石だったりレンガだったたり段差の多い空堀らしい風景です。

③ 時計屋さんの名前が木の文字で作られているのですがこんな手の込んだ看板は今では無いと思います。懐かしい昔の時計屋さんの雰囲気が好きで私のお気に入りです。

④ 四つ角にある家で、今にも崩れそうですが存在感があります。残ってほしいと願う建物です。

⑤ ふと見るとメーカーの塊が家の外にあります。

⑥ また、香水香油製造所とある看板は数年前まではそのままにかかっていた看板が記念に壁に貼付けられています。昔、空堀で製造されていたのだと妙に感動したのです。

⑦ 絵本に載せた空堀らしい街並

⑧ 小さいけどりっぱなお社があります。いくつか見つけれましたか？ 空堀をいろんな角度から楽しんで頂けましたでしょうか？

田島北ふれあい広場の魅力とは？

完成してそろそろ1年が経とうとしている田島北ふれあい広場。あなたはもう訪れましたでしょうか？

ここは、この地域の住人と空堀地区H O P Eゾーン協議会の皆さん、大阪市の職員さんがみんなであーでもないこーでもないと話し合いながら作られた広場なのです。場所は谷町筋の1本西側の善安筋と空堀商店街のT字路、かつての澤井亭の脇にある南へ下る路地です。

主な整備の目的は三つあります。一つ目は、石垣に沿った幅の広い路地であるため、災害が起きたときの初期的な避難場所としてです。木造密集地である空堀を災害から守るためには必要なオープンスペースです。二つ目は、空堀地区H O P Eゾーン協議会もご尽力されている、空堀らしい昔ながらの風景を受け継ぐことです。そのため元々

魅力とは？

あった市電の敷石と思われる石や、造成時に出土!?した大きな水路の蓋石を、舗装として活用しています。三つ目は、路地に住む人々の交流を図るため、地域の情報を貼り出すことのできる掲示板、防災用具などが収納可能なベンチを設けています。あと足を運ばば必ず目につく珍しい施設があるのです。

それは手汲みポンプです！かつて井戸端の風景として定番であった、ガチャンガチャンと人の手で井戸水を汲み上げる機械なのですが、この広場のポンプは、なんと雨水を汲み上げているのです。仕組みはいったって簡



単で、石垣の上の住宅の背割りの雨水を、西へ下る上町台地の地形を利用してあれよあれよと導いて、ポンプの横に埋められたタンクへ溜めています。

やはりこの手汲みポンプ、珍しいものなので、調子に乗ってガンガン水を出すかたや、このポンプで遊びまくる子供がたまに現れます。当然ながら井戸水のように汲めばドンドン湧き出すものでなく、タンクの容量も小さいので、すぐに枯れてしまうことがあります。雨水は、流せばただの川の水ですが、溜めれば立派な資源となります。大切に使用してみてください。

ちなみにこの広場では、水を打ったり、植物への水やりに使ったりしています。こないだ何も知らない街歩きの方が、「やっぱ井戸の水は冷たいなあ〜!!」とありがたそうに顔を洗っていました。事情知ったる皆さんは真似をなさらぬように！もし大阪市内にお住まいの方でしたら、雨どいから雨水を集める貯留タンクを購入する際、半額を市が負担してくれます。



「若者に教えられたこと」

高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

高齢者外出介助の会は運営資金のためにバザーをこまめにしています。品物は近所の方など「通りかかって」と言って、持ち寄って下さったものです。しかし、最近では百均が強敵で売れません。売れ残ると置き場所があふれます。でも、持ってきてくださった方々の心を思うと…、値段を下げてサロンの前に置いてあります。個性的で良い品物が多いのですが、見て楽しむ人の方が多いのです。時に欲しいと言う人があり、「よかった」と嬉しくなるのですが、凄く値切られます。寄付してくださった方に申し訳なく簡単に受け入れられ

ません。買うといわれた時がチャンスなので。しぶしぶ値下げするのですが、安く買ったら大切に扱わないのではないかと心配になります。時々覗いて楽しい話をしてくれる中に若い女性Fさんがいます。ある日も、彼女が来ているとき「これが欲しい」と言っていて一人の方が来られました。Fさんは品物を包み渡しながら「大事に使ってやってください」と言われました。

その一言で凄く得をした気分になり愛着も湧いて来ることでしよう。ささいな事ですが、嬉しい出会いを作るのも言葉だと教えられたのです。



車椅子がめくれば

街の車いすおじさんから⑩
高齢や障害のために車椅子生活になることは誰にでも起こるかも！そんなことになって気が付いたり考えたことを連載で。

日曜の午前中、空堀の真ん中にある桃園公園で自治会主催の「防災訓練」が行われ、多数の住民が参加しました。中央区では、全域の防災訓練を年一回大掛かりに、お祭りのようにやっています。行先化していて災害時にどれだけ役立つか疑問。「もっと小さな単位で、身近に」やらないと、多額の予算がモツタイナイと、進言していたのでした。

この度、小学校区を単位とする防災訓練が連合町会で企画実行され、本日に役立つ「顔の見える防災訓練」に近づいて来たなと感じたのでした。最近、阪神淡路大震災の被災による障害者が増えて来ていると報道され、



高齢者外出介助の会

からほりサロン

買い物で疲れたり、話し相手が欲しい！
一人で食事は面白くない
誰かと食べたいね。
理由は何でも
先ず来てみてください！



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入りの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp



文・写真：松下岳生（ロジールム店主／環境デザイン事務所 素地（soji）代表）

わずかではあります。水道代も助かりますし、川の急な増水を防ぐ効果もあります。是非ともご利用頂いて、水都大阪ならではの「雨を活かす、始末のよい暮らし」を実践してみてください。いかがでしょうか。

このように、路地奥の小さな広場ではありませんが、このまちならではの魅力がたくさん詰まった広場でもあります。この魅力を受け継ぐために、毎月第1・3日曜日の朝8時45分頃～9時過ぎに、近くの住人で簡単な掃除をしています。ちょっとした井戸端ならぬ雨水端!?の交流が生まれます。ご興味ある方は、お気軽に顔を出して下さい。